

District 地区だより News Letter



Vol. 4
2013.10.1

Governor's  News Letter
ガバナー ニュースレター

2013-2014 年度

国際ロータリー会長 **ロン D. バートン**

国際ロータリー第 2690 地区 (鳥取・島根・岡山)

2013-2014 年度 ガバナー **森本 信一**



Content

- 2 ガバナーメッセージ
- 3 米山記念奨学委員会
- 4 ガバナー公式訪問だより
- 9 地区雑誌広報委員長会議
- 9 会員増強・ロータリー財団
合同セミナー
- 15 国際青少年交換プログラム
- 16 地区だより
- 18 文庫通信
ハイライトよねやま
- 19 出席報告 (8月)

江見写真館 (登録有形文化財)
(岡山県津山市)

昭和4年建築、2階建てで、玄関南側には半円形の応接間が西側に張り出した状態で配されています。応接間の屋上ベランダの背後には、上部が半円状の大型窓が並んでいます。正面からの外観を大きく特徴づけているのは、立ちの高い2階部分です。これは2階に設けられた写真スタジオの天井高を十分に取るためのものです。

ガバナーメッセージ

職業奉仕月間によせて

国際ロータリー第2690地区
(津山RC) ガバナー **森本 信一**
もり もと しん いち



職業奉仕の理念は、アーサー・フレデリック・シェルドン*が提唱した「最も良く奉仕するものは、最も多く報われる」(He profits most who serves best) に表わされているものであり、他の奉仕団体とは異なる独自の奉仕理念です。



アーサー F.シェルドン
(Arthur Frederick Sheldon 1868~1935)

シェルドンは「我々職業人が自ら事業の継続的發展を願い、一定の利益を得ることは当然であり決してやましいことではない。然るに、ロータリアンの職業は利益を得るためのみの手段ではなく、その職業を通じて、社会

に奉仕するために存在するのであり、利益を優先して事業を営むことが、事業に失敗する要因である。」と述べておられます。職業奉仕の実践は、顧客の満足度を優先した事業経営ですから、高い職業倫理が要求されます。

日本語の「職業」は、すべての職業を一括した言葉ですが、ロータリーの職業奉仕 (Vocational Service) は Profession(専門職)、Job(仕事)、Trade(商業、手職)の何れでもなく「Vocation」(天職: 適正な訳語ではないが非常に高い倫理性が要求される職業の意)と表現されています。

ロータリアンの中核となる価値観 (Core Value) のひとつ「高潔性 Integrity」と相通ずるものがあると思います。

一方、創始者ポール・ハリスがいみじくも「ロータリーは時代と共に変化しなければならない。」と述べているように、「1業種1名が数名まで可能」になり、「職業を持たない人でもロータリアンの資格がある。(2013年規定審議会決議)」と変化しつつあります。2011年には「ロータリアンの職業宣言」が「ロータリアンの行動規範」に代わりました。職業人でない方の職業奉仕は? 職業分類は? 等の付帯的な疑問も浮上していますが、ポール・ハリスは「ロータリーの多様性を認めよう。(違いに対して寛容であること。)」とも述べておられます。

再度、職業奉仕の基本理念「ロータリアンの職業は、その職業を通じて、社会に奉仕するために存在する。」を心に刻んでおきたいと思います。

*アーサー・フレデリック・シェルドン: ポール・ハリスを助けて初期のロータリーの基礎を確立した。(1908年 シカゴRC)

「米山記念奨学委員長研修」及び 「米山記念奨学生・学友親睦会」を開催

地区米山記念奨学委員長 治郎丸清志
(津山RC)



当地区では初めて、「クラブ米山記念奨学委員長研修会」を岡山エリア8月25日(岡山市)、鳥取・島根エリア9月8日(松江市)に、森本信一ガバナー、松本祐二ガバナー・エレクト、葛尾信弘パストガバナー米山記念奨学会理事、伊藤文利パストガバナー米山記念奨学会評議員、地区役員、米山奨学委員の方々のご出席のもと、各クラブから参加された米山奨学委員長あるいは代理の方々が熱心にセミナーを受講し、グループ討議で情報交換をして米山奨学事業について理解を深めました。それぞれの研修会の後に、「親睦会」を開催し、参加した米山記念奨学生、学友、カウンセラーとの交流を図りました。

親睦会には、岡山エリアでは米山奨学生9名、学友11名、初めて開催する鳥取・島根エリアでは米山奨学生5名、学友12名が参加しました。学友の中には、25年前に米山奨学生であった学友が初めて参加されたり、はるばる徳島から松江(会場)に駆けつけた学友もおられ、皆さんが「このような親睦会に参加する機会を得て大変嬉しい」と学友同士の交流を楽しんでいました。

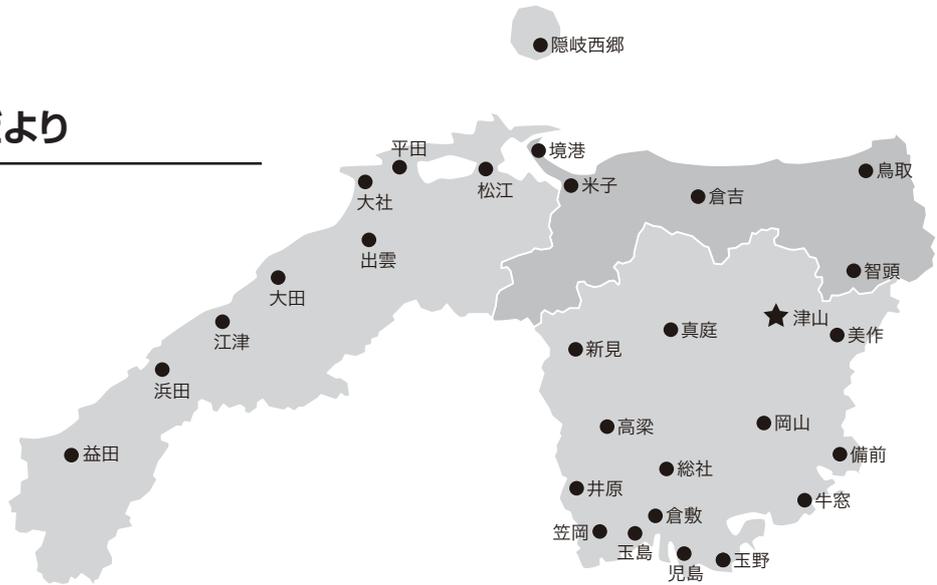
岡山では、「よねやま親善大使」の学友・楊小平さん(中国、2011-2012年奨学生、世話クラブ:東広島21RC、現在、広島大学大学院国際協力研究科客員研究員)が講話をされ、広島原爆ドームのピース・ボランティア、中国への

平和スタディ・ツアーなどの平和活動について報告し、米山奨学生になったことで、平和に貢献する奉仕の精神を学び、現在の自分があることへの感謝などを話されました。また学友・アルチャナ・シュレスタ・ジョシさん(ネパール、2001-2002年奨学生、世話クラブ:鈴鹿西RC、現在岡山県立大学・博士課程在学中)の講話では、ロータリーの支援を受けてネパールで女性自立支援のための職業訓練センターを立ち上げ、これまで1200名以上の女性を送り出してきたこと、これも米山記念奨学生になり、ロータリーの支援で可能になったことで、心より感謝している、との話をされました。松江の親睦会では、再び楊小平さんの講話に加えて、米山記念奨学会事務局員・武本泰子氏がスピーチをされ、ご自身の海外生活の経験談を含めて、熱く奨学生・学友の心に届く話をされました。



森本信一ガバナーは「地区のロータリアンの皆さんに米山記念奨学事業の意義をもっと深く理解し、支援をして頂くために、今回の研修会、親睦会のような機会を継続的に設けることが大切です。また学友会の活性化のためにも、地区として、しっかり支援をしたい」と話され、また松本祐二ガバナー・エレクトも、「今回の親睦会は特に鳥取・島根エリアの学友にとっては素晴らしいプレゼントでした。次年度も、こういう機会を続けて行きたいと思います」と話されていました。

ガバナー公式訪問だより



第16陣 米子南ロータリークラブ



2013年7月22日(月) 米子全日空ホテル

- 会 員 数： 52名(2013年7月) ●創立28年
- ロータリーモメント発表： 1名(中村会員の俳句同好会)
- クラブスローガン(テーマ)：地区テーマと同じ

◎ガバナー所感

- ・会場設営、例会運営、時間配分、申し分なし。
- ・片山会長以下ロータリー活動について意欲的で知識も豊富。
- ・青少年交換学生リサさんの送別例会に出会えたのは印象的だった。
- ・女性会員も数名おられ和やかな雰囲気。

◎特記事項

金山ガバナー補佐のテナーサクソとロータリーメンバーのソプラノで、愛唱歌「エーデルワイス」の歓迎の演奏。感激でした。

第17陣 児島ロータリークラブ



2013年7月23日(火) せとうち児島ホテル

- 会 員 数： 31名(2013年7月) ●創立49年
- ロータリーモメント発表： 2名
- クラブスローガン(テーマ)：

「50周年に向けてGO!!」

◎ガバナー所感

- ・会場設営、例会運営、時間配分、申し分なし。
- ・片山会長以下ロータリー活動について意欲的で知識も豊富。
- ・本年度はクラブのすべての力を「50周年に向けて結集」している姿勢は印象的。
- ・ローターアクトクラブを20年に維持発展させたのは素晴らしい。
- ・渡辺好政元RI理事を輩出した名門クラブ。渡辺先生のためにも、もう一声増強を!

◎特記事項

瀬戸内海の眺望が最高。渡辺先生いつもお世話になり感謝!

第18陣 真庭ロータリークラブ



2013年7月23日(火) 真庭ロータリー会館

- 会 員 数： 34名(2013年7月) ●創立31年
- ロータリーモメント発表： 2名
- クラブスローガン(テーマ):「感謝と報恩」
- サクセス・ジャパン大作戦紹介レター:1通深謝。

◎ガバナー所感

- ・多くの継続事業を推進、中規模クラブながら地域貢献度大。16回を迎える「中高英語スピーチコンテスト」は素晴らしい。
- ・クラブスローガン「感謝と報恩」、藤岡会長のお人柄がにじみ出ている。

◎特記事項

独自のロータリー会館を所有しているのは全国的にも稀有。大事にしてください。

第19陣 松江ロータリークラブ



2013年7月24日(水) ホテル一畑

- 会 員 数： 67名(2013年7月) ●創立61年
- ロータリーモメント発表： 2名
- クラブスローガン(テーマ):「親睦と会員増強」

◎ガバナー所感

- ・会場設営、例会運営、時間配分、申し分なし。
- ・谷口会長以下ロータリー活動について意欲的で知識も豊富。
- ・「親睦と増強」を最重点とした運営には会長の意気込みが感じられる。
- ・2名のパストガバナーを輩出、多くの子クラブを設立された山陰地方きっての名門クラブ。歴史と伝統の重みを感じられる。

◎特記事項

松江と津山はいずれも結城秀康の直系で、葵の御紋の親藩大名。松江藩の方が立藩が早かったので兄貴分になります。

第20陣 総社ロータリークラブ



2013年7月24日(水) 国民宿舎サンロード吉備路

- 会 員 数： 39名(2013年7月) ●創立41年
- ロータリーモメント発表： 2名
- クラブスローガン(テーマ): 地区テーマと同じ

◎ガバナー所感

- ・会場設営、例会運営、時間配分、申し分なし。
- ・西川会長以下ロータリー活動について意欲的で知識も豊富。
- ・中規模クラブながらすべての地区目標にチャレンジしているのは素晴らしい。
- ・上野幹事さんのしなやかなクラブ運営に期待。応援します!
- ・幹事さん以下女性会員の比率が高くなごやかで、華やいだ雰囲気。

◎特記事項

女性のおしゃべりが過ぎると袈裟姿の小鍛冶SAAから「喝」の札が上がる。迫力満点。

第21陣 津山中央ロータリークラブ



2013年7月25日(木) 津山国際ホテル

- 会 員 数： 26名(2013年7月) ●創立25年
- ロータリーモメント発表： 2名
- クラブスローガン(テーマ)：「ロータリーで喜びをお互いに知ろう」

◎ガバナー所感

- ・会場設営、例会運営、時間配分、申し分なし。
- ・地域と結びつきのある多くの事業を推進、「小粒でもぴりりと辛い」との表現がぴったりのクラブ。地元のよしみで応援したい。
- ・同規模の米子中央(日本海)、津山中央(要の山国)、高知中央(太平洋)と地域横断の姉妹クラブでの交流が行われているのはユニーク。
- ・クラブスローガンは会長のイメージがぴったりです。

◎特記事項

創立25周年、1/4世紀の節の年をお祝い申し上げます。
「アゲハさん」こんにちは。覚えておられますか?

第22陣 備前ロータリークラブ



2013年7月26日(金) 備前焼伝統産業会館

- 会 員 数： 70名(2013年7月) ●創立49年
- ロータリーモメント発表： 2名
- クラブスローガン(テーマ)：

「ロータリーを学び、ロータリーを実践し、ロータリーを楽しもう」

◎ガバナー所感

- ・会場設営、例会運営、時間配分、申し分なし。
- ・駒澤会長以下ロータリー活動について意欲的で知識も豊富。駒澤会長は「筋金入りのロータリアン」と拝察。
- ・地区テーマをさらに発展させたクラブスローガンは印象的。
- ・驚異的な増強を達成された伝説のクラブ。退会防止に全力投球を!
- ・岡本幹事さんのしなやかなクラブ運営に期待。応援します!
- ・幹事さん以下女性会員の比率が高くなごやかで、華やいだ雰囲気。

◎特記事項

会員の多彩な職業(落語家、陶芸家、ソプラノ歌手...)にはびっくり。ソプラノ歌手のBGMを聞きながらの食事はまた格別でした。

第23陣 出雲中央ロータリークラブ



2013年7月29日(月) 出雲ロイヤルホテル

- 会 員 数： 45名(2013年7月) ●創立21年
- ロータリーモメント発表： 2名
- クラブスローガン(テーマ)：「心ひとつに」

◎ガバナー所感

- ・会場設営、例会運営、時間配分、申し分なし。
- ・伊藤直子会長以下ロータリー活動について意欲的で知識も豊富。
- ・本年度クラブのスローガン「心ひとつに」は会長の強い思いが込められていると思います。心から応援します。
- ・地域に根差した「出雲市民の森」事業は今後も継続事業として推進されることを期待。
- ・本年度の野心的事業「全国ロータリークラブ親睦卓球大会 in出雲」地区としても最大限応援します。成功をお祈りします。

◎特記事項

伊藤会長の和服姿はとても素敵でした。(感激です)
11月には卓球大会に伺います。

第24陣 出雲ロータリークラブ



2013年7月30日(火) ホテル武志山荘

- 会 員 数： 49名(2013年7月) ●創立60年
- ロータリーモメント発表： 2名
- クラブスローガン(テーマ)：地区テーマと同じ

◎ガバナー所感

- ・会場設営、例会運営、時間配分、申し分なし。
- ・永島会長以下ロータリー活動について意欲的で知識も豊富。
- ・創立60周年を迎え各2名のバスターガバナーを輩出、多くの子クラブを設立されたこの地域きっての名門クラブ。敬意を表します。
- ・継続事業が豊富なのが印象的。「使用済み切手収集」「身障者施設でのクリスマス会」「出雲市小中学校野球大会」etc.
- ・出雲RCを中長期的に発展させるための「未来計画委員会」がユニーク。

◎特記事項

和室での会長幹事会、抹茶とお菓子でくつろぎました。
「ナホトカRC」の設立スポンサーとはびっくり!!

第25陣 境港ロータリークラブ



2013年7月30日(火) 境港マリーナホテル

- 会 員 数： 45名(2013年7月) ●創立51年
- ロータリーモメント発表： 2名
- クラブスローガン(テーマ)：「今、親睦の原点から」

◎ガバナー所感

- ・会場設営、例会運営、時間配分、申し分なし。
- ・小林会長以下ロータリー活動について意欲的で知識も豊富。
- ・「弓ヶ浜・白砂青松アダプトプログラム事業」は地域の奉仕活動と環境整備がマッチングした素晴らしい事業と認識。
- ・クラブスローガンに会長の親睦活動への取り組みの熱意が伝わります。

◎特記事項

例会の初めに柔軟体操を実施。これで体も気分もほぐれ緊張が和らぎました。
例会後の懇親会、宿泊手配、楽しいひと時でした。深謝。

第26陣 米子東ロータリークラブ



2013年7月31日(水) ホテルサンルート米子

- 会 員 数： 88名(2013年7月) ●創立45年
- ロータリーモメント発表： 1名
- クラブスローガン(テーマ)：
「ロータリーに誇りを! 参加しよう そして行ってみよう」

◎ガバナー所感

- ・会場設営、例会運営、時間配分、申し分なし。
- ・木美会長以下ロータリー活動について意欲的で知識も豊富。
- ・新宮バスターガバナーを輩出し、創立45年を誇る名門クラブ。
- ・クラブスローガンは、本年度会長のロータリーへの取り組みの意気込みが伝わってくる。
- ・本年は既に驚異的な増強(5名)の実績に心から敬意を表します。

◎特記事項

女性会員がクラブの魅力を一層増しているように感じました。

第27・28陣 大社／平田ロータリークラブ



2013年8月1日(木) ホテルほり江

- 会 員 数： 40名(平田)、47名(大社)
- 平田創立40年、大社創立52年
- ロータリーモメント発表： 2名
- クラブスローガン(テーマ)：
平田RC「ロータリーを活(い)かそう」
大社RC「積極的に参加しよう」

◎ガバナー所感

- ・会場設営、例会運営、時間配分、申し分なし。
- ・飯塚会長、手銭会長共、お2人の各々のクラブスローガンからロータリー活動への並々ならぬ情熱を感じました。
- ・私にとって、初めての合同例会であったが、両方のクラブの息がぴったり合い、素晴らしい例会でした。

◎特記事項

「平田RC、大社RCの名前は地域を表し素晴らしい、大事にしてください。」とスピーチで申し上げたら、クラブのことに干渉すると言われてきました。他意はありません。失礼しました。

第29陣 鳥取ロータリークラブ



2013年8月1日(木) ホテルニューオータニ鳥取

- 会 員 数： 65名(2013年7月) ●創立61年
- ロータリーモメント発表： 2名
- クラブスローガン(テーマ)：「わ(和、輪、話、わ...)をひろげよう」

◎ガバナー所感

- ・米原パストガバナーをはじめ3名のパストガバナーを輩出、多くの子クラブを設立された、歴史と伝統のある名門クラブ。
- ・会場設営、例会運営、時間配分、申し分なし。
- ・油野会長以下ロータリー活動について意欲的で知識も豊富。
- ・クラブスローガンが、ユニークで素晴らしい。会長のお人柄がスローガンに良く表れている。
- ・鳥取RC独自の「米原賞」は米原パストガバナーのお志を継ぐもので心から敬意を表します。
- ・各界企業地域拠点のトップ、大学教授、教育関係者等が会員に多いが高い出席率(ホームクラブ出席率で87%強)は驚異的。

◎特記事項

夜例会に変更、懇親会を兼ねた食事会を設定して頂き深謝。

第30陣 倉敷南ロータリークラブ



2013年8月2日(金) ヘルスピア倉敷

- 会 員 数： 65名(2013年7月) ●創立52年
- ロータリーモメント発表： 2名
- クラブスローガン(テーマ)：地区テーマと同じ

◎ガバナー所感

- ・過去にパストガバナーを2名輩出、多くの子クラブを設立された、創立52周年を誇る名門クラブ。
- ・当地区での最多寄付(米山奨学会、ロータリー財団共)を誇る白髪会員もご健在。
- ・会場設営、例会運営、時間配分、申し分なし。
- ・池上会長以下ロータリー活動について意欲的で知識も豊富。
- ・ひょうひょうとした池上会長と実直な三宅幹事の名コンビ、本年度のクラブ運営は言うことなしと思われます。

◎特記事項

倉敷水島地区では大変存在感のあるクラブと拝察。池上会長、津山の地「・・・」で一献傾けましょう?

地区雑誌広報委員長会議 2013年8月3日(土)

ロータリーの友事務所の二神典子編集長を講師に「ロータリーのことを話しましょう」の演題で講演を頂きました。質疑も活発な意見が交わされ有意義な会議で、出席者の熱心さと関心の高さをうかがうことが出来ました。



クラブで素晴らしい奉仕活動を実施された際には、最新情報をアドバイス頂いた「投稿のコツ」を踏まえて「友」ご

投稿頂きより身近に「ロータリーの友」を感じて下さる様願っております。

また、後日「友」の読書率また公共イメージと認知度の向上等のアンケートを取らせて頂く予定と地元へのPR活動をお願いして散会しました。



2013-2014年度 国際ロータリー第2690地区 会員増強・ロータリー財団合同セミナープログラム

2013年9月1日(日) 11:00～ 津山国際ホテル

■本会議

会場：鶴山の間

開会点鐘	ガバナー	森本 信一
開会の言葉	地区代表幹事	脇 利幸
ロータリーソング「奉仕の理想」	ソングリーダー	稲葉 伸次
ガバナー挨拶	ガバナー	森本 信一
基調講演「地域における高等教育機関の改革に向けて -地域再生のエンジンを目指して-」	就実大学学長	稲葉 英男
2013-2014年度 ロータリー財団の新規事業について		
①「恒久基金/大口寄付」の新規懇請活動について		
恒久基金/大口寄付アドバイザー	パスト・ガバナー	鳥居 滋
②「地区ポール・ハリス・ソサエティ」について		
地区ポール・ハリス・ソサエティ・コーディネーター	パスト・ガバナー	伊藤 文利

■会員増強セミナー

会場：桜華の間

開会挨拶	ガバナー	森本 信一
講演「会員増強とクラブの活性化」	ロータリー・コーディネーター	
	第2660地区パスト・ガバナー	井上 暎夫
閉会挨拶	地区副代表幹事	馬場 茂

■ロータリー財団セミナー

会場：桜華の間

開会挨拶	ガバナー・エレクト	松本 祐二
講演「夢計画のこれから」	地区ロータリー財団委員長	鳥居 滋
2012-2013年度新地区補助金 結果報告	新地区補助金小委員会 前委員長	中村 公彦
2013-2014年度地区補助金 状況報告	地区補助金小委員会 委員長	神崎 信輔
2014-2015年度地区補助金 スケジュール	地区補助金小委員会 副委員長	田儀 政司
閉会挨拶	地区副代表幹事	山本 俊彦

特集 会員増強・ロータリー財団合同セミナー 2013.9.1

会員増強・ロータリー財団合同セミナー 開催にあたって

国際ロータリー第2690地区
2013-2014年度ガバナー **森本 信一**

会員増強セミナーの目的は、会員基盤を維持・増加させるために、地区内のクラブを支援するのに必要な技能と知識と意欲を備えたクラブや地区指導者を育成することにあります。所在地域に根をおろし且つ、地域住民の要望に応えるためには、的確な人物をひとり残らず会員に迎えることが極めて重要です。クラブが勝手に会員数を制限したり、会員増強の方策や新会員推薦方法、あるいは、新会員をクラブに溶け込ませる方法に無関心であるために会員増強ができないのはロータリーの原則に沿わないし適正なこととは言えません。各クラブは、会員数増加が会員の質の低下につながってはならないということを認識しつつ、会員の増加に積極的な姿勢をとることが必要です。

ロータリー財団セミナーの目的は、ロータリアンが財団プログラムについて学び、財団に積極的に参加し、財団に支援する意欲を高めることにあります。また本年度、ロータリー財団は以下の新事業を発表し、積極的に取り組むように推奨しております。

1. 「恒久基金/大口寄付」事業
アドバイザー 鳥居パスト・ガバナー
2. 地区ポール・ハリス・ソサエティ
コーディネーター 伊藤パスト・ガバナー

会員増強・ロータリー財団合同セミナーは、地区内67クラブの会長、幹事、会員増強委員長、R財団委員長に、会員増強、ロータリー財団の意義について、一層の理解を深め、その目標に向けて取り組んで頂くことが狙いです。

基調講演は、就実大学稲葉英男学長に時宜に適したご講演をお願いしております。ご期待ください。本日の合同セミナーが皆様方の今後の活動に意義のあるセミナーであることを祈念して開催のご挨拶と致します。



特集 会員増強・ロータリー財団合同セミナー 2013.9.1

地域における高等教育機関の改革に向けて 地域再生エンジンを目指して 就実大学学長 **稲葉 英男**

基調講演

みなさんこんにちは、私は津山高専に5年間おりました、そのときにも何回か講演をさせていただいた事があります。このクラブの会員の方々とはとても心が広くてバランスのとれた方が多いと思いました。それは、経営者の方が多いということです。

私は、北海道生まれの北海道育ちで、平成元年に岡山県に来ました。岡山は活力のある県だと感じました。それか

ら縁あって、広島、鳥取、島根県にも行きましたが、それぞれに特徴のある風土があって、とても良いところだと思いました。

本日用意した資料には、文科省・経済産業省・厚労省から、どんな学生を育てるか色々な要望があります。その中で、平成19年に教育基本法が改正になり、大学・短大・高専等の位置付けをもう一度行うということで、教育・研究・社会



貢献・社会人教育の定義づけを産学連携で行い、大学が社会にどれだけ寄与しているのか、特に国立系の大学では国の流れと育てる学生の方向性が違っているのではないかと言う事です。以前は別々で進められていた教育が、産学連携して一緒に進めて行く方向性になりましたが、うまく動いていないのが現状であります。

現在、大学に求められているのは、財政難の中で、いかに経済的に自立して運営を行うかということにあります。もうひとつは学位です。大学は学位を出せるが、それが社会にどれだけ寄与しているのか役立つのかと言う事です。アメリカ、ヨーロッパでは博士号を持って地方で活躍している人が多いのですが、日本ではそれほど後押しされていないのが現状です。それと、学生の視点に立った教育を行なっているのか、今は世の中が完全に変わってきているのに昔と同じ教育を行い、送り出して行って、企業や社会は満足しているのかという問題が発生しているのです。学生を主体とした教育を進めていく事が重要であります。それから、学術研究の再確認ですが、今までやって来ている事はこれで良いのか、先生の興味だけで動いて良いのだろうか、そういったところも課題になっています。

自民党政権になって、安部総理が産業再生は教育再生と人材再生であり、大学力は国力そのものである。したがって、大学の強化なくして我が国の発展はないと言われた教育において、将来の人材を育てる研究は、未来の価値を提供するものである。

社会貢献においては、現在の価値観をどう伝えていくのか、もう少し見直して行くべきである。文科省の資料では、10年前から大学が減少していて、特に短大の人气が低下

しているようですが、25歳をベースに見ると、短大・高専卒の人が一番伸びていて、社会の中では中核的人材として非常に大事な存在になっています。

我が国の大学進学率は52%です。OECD諸国の平均は62%であり、韓国は70%、中国では23%で、オーストラリアでは90%です。

日本の進学率は世界に比べて高いとは言えませんが、専門学校に流れて行って、資格取得を目的にしている状況です。専門分野の資格を持って機械操作等は出来ても、人との会話が出来ない人が多く、資格だけでは世の中は成り立っては行かないのです。

21世紀は、終身雇用制度は崩れて、多様化・多様性のある人材、意欲・創造性・交渉力のある人材が求められています。自分の目標を立て、組織の目標を達成してゆく、これに対して大学教育は対応しているかどうか、方向性を変えなければいけない時代に来ています。



これからは、大学と包括連携を結んで大学と企業が手を組んで組織として活動し、それに対して国がサポートする流れになっています。もうひとつは、産学連携から産学融合になってきています。融合とは計画段階から一緒になって物事を進めていく流れです。

地域再生エンジンとは、成長産業を目指して、新しい授業科目と今までの学問体系にとらわれない人材で、大学と企業および地域・自治体が組織を作って、色々と地域の事を考えたオーダーメイド的な教育を一体となって行っていく時代に来ています。

すでに、沼津高専では、近大・県・企業により、専門的な新しいプログラムを作成して専門家を育成し、将来的にはグローバルに自立して行く体制がスタートしています。

特集 会員増強・ロータリー財団合同セミナー 2013.9.1

「恒久基金/大口寄付」の新規懇請活動について

第3ゾーン 恒久基金/大口寄付アドバイザー **鳥居 滋**
 パスト・ガバナー



アクティブロータリアンに理解していただきたいことが3つあります。まず、奉仕活動に先立つもの、つまり資金をしっかり準備すること。2つめは意味のあるいい奉仕プログラムを考えていただくこと。3つめは、財団の行動の裏づけとなる財

務について理解することです。そこで今日は財源の話をいたしますが、財団が意図することは、世界の奉仕団体の中でのロータリー財団の位置付けを上げるべく、創立100周年にむけて財政基盤を強化していきたいということで、現在約600億円での運営に対し、これを80億円ずつ5年かけて400億円積み上げたいと考えています。日本の3ゾーンの過去10年を見ると、大口寄付実績の低い地区を経済力のある地区がカバーしている形ですが、それでも昨年度実績のトータルではかなり伸びています。ガバナー、地区R財団委員長、ガバナー補佐、各委員会の方々等をはじめ、本日出席のクラブ役員の皆さま、ぜひこの基盤づくりの推進にご協力をお願い致します。

特集 会員増強・ロータリー財団合同セミナー 2013.9.1

「地区ポール・ハリス・ソサエティ」について

地区ポール・ハリス・ソサエティ・コーディネーター **伊藤 文利**
 パスト・ガバナー



ポール・ハリス・ソサエティ(PHS)とは財団の新しいプログラムで、2007年から推進しておりあまり浸透していませんが、あらためて各地区、各クラブで浸透を図ることとなりました。PHSは財団の寄付のうち、年次基金寄付と用途指定

寄付にのみ適用されます。PHSは毎年1000ドル以上の現金寄付であり、必然的にポール・ハリスフェロー(PHF)になっていただく前提です。そしてPHSの入会資格は連続して複数年1000ドル寄付が必須となります。入会手続きは申請書に記載し、地区ガバナー事務所への送付です。また添付資料に当地区67クラブの昨年度財団寄付一覧表がありますので、これを持ち帰り各クラブでしっかり考察してください。最後に2点、寄付行為はまずトップが模範をしめして下さい。次に、感謝の気持ちは是非クラブで暖かい配慮をしていただきたい。

最後に申し上げます。「財団寄付を実践し、みんなに豊かな人生を」

会員増強とクラブの活性化

第3ゾーン ロータリー・コーディネーター

第2660地区 パスト・ガバナー 井上 暎夫
(千里 RC)



世界のロータリアン 現在の国別比率は、米国28%、印度10.2%、日本7.3%、韓国5%で、この4国で世界の半分を占めております。先進国と言われる国で会員の減少が続き、発展途上国で伸びているのが現状です。世界全体では、10年間120万人台で推移しております。

日本のロータリアン 1998年頃をピークに減少傾向は続いておりますが、第3ゾーンでも3地区が純増に転じ、底を打ったと期待しております。第3ゾーンの入会率1位の地区が退会率最下位、退会率最少の地区が入会率ブービーで、この2地区が増強率10位、11位です。入りやすいが辞め易く、入り難いが辞めにくいのでしょうか。

増強 に何が有効かを見つけることは、どの地区も求めるところです。

我が地区でこの課題に取り組みましたが、手法が多く、有効な手立ては見つけられませんでした。増強の基本である職業分類表の活用が大切です。地域は刻々と変化をしております。新しい企業、女性の進出がある現在を反映した職業分類表を最新のものとし、増強に役立てて下さい。

会員維持と退会防止 日本ではこの5年間平均して1年6830人の新入会員を迎えましたが、これを上回る退会があり減少が続いております。

ある地区のクラブ会長によるアンケートでは、ロータリーに入っている意味が見いだせない、活気、魅力がなく楽しさを見つけにくい、例会のマンネリ化などが指摘されました。

「ロータリーは時代と共に変化しなければならない」はポール・ハリスの言葉ですが、現在のクラブが時代に対応してい

るのか、例えば、例会場、例会時間、会費はなど問題は山積しております。しかし、クラブのルールを変えるのは容易ではありません。そこで考えられる対応は、クラブの拡大です。新世代によるクラブ、Eクラブ、従来と異なる食事を出さない、会費の安いクラブ、朝、夕の例会によるクラブなどが日本でも誕生しております。そうした自分達と形式が異なるクラブも、ロータリーのルールに適合している限り、多様性を認めてほしいのです。

SAKUJI作戦 2015年6月末まで、サクセス・ジャパン作戦として続きます。日本の何処かにいる友人、知人を1人が1人を推薦下さい。日本全体の会員数底上げにご協力をお願いします。

クラブの活性化 クラブの活性化を阻害する要因に、会員数の減少、ロータリー精神の希薄化、クラブ活動のマンネリ化などがあります。奉仕の理念、高潔性、寛容の精神など変えてはならないことと、時代の変化に伴う多様性、柔軟性、刷新性や情報革命に対応し、変わらなければならぬことに取り組まなければなりません。その為に、私はクラブにおける研修リーダーの選任を提案します。

クラブ研修リーダー ロンド バートンRI会長は、我々は日々単なる一会員であるか、真のロータリアンになるかの選択をしていると述べました。新入会員を真のロータリアンに導く、現会員のマンネリ化を防ぎ、新たなる意欲を高める役割を果たしてほしいのです。

戦略計画 自分達の将来像についてクラブで議論して下さい。5年後の会員数、平均年齢などそこに至る道程を描いて下さい。RIは奉仕活動を計画する際、財団の利用、公共イメージの向上を図りながら増強に繋げる戦略計画の推奨をしております。

活性化の取り組みに対しロータリーの現状はどうなっているのか、についてRIは大掛かりな調査を致しました。結果、ロータリーは既にその成功に必要な強みを備えていることが分かりました。戦略計画の推進が現在のRIの大きな課題です。

増強とは、会長の決意に始まり、クラブ全員で取り組み、新会員を真のロータリーに導き、その人生を豊かにすることで完結するものと思います。

特集 会員増強・ロータリー財団合同セミナー 2013.9.1

講演「夢計画のこれから」

地区ロータリー財団委員長
鳥居 滋



鳥居滋地区R財団委員長から「ロータリー(R)財団の将来計画とクラブR財団委員長の役割」と題して、R財団の将来計画から、クラブR財団委員長に求められる次の5つの責務についてご講演をいただきました。

1. R財団の戦略と戦術を知る

2017年にR財団は100周年を迎えます。

2017年ビジョンとして、①ポリオの撲滅を図る、②世界的に認識された50財団の一つになる、③世界的人道的ニーズに応えるリーダーとなる、④戦略的パートナーシップを結ぶ、⑤寄付方法の多様化を図る、⑥簡素化された補助金と運営モデルを構築する、以上の戦略を掲げています。この戦略を具体的に押し進める戦術として、ポリオ撲滅の後の、長期的人道奉仕プログラムの6重点分野への移行、短期的プログラムの地区補助金としての地区への移管、そしてR財団の財務基盤の拡充を目的とした、恒久基金／大口寄付の促進とポール・ハリス・ソサエティの推進を掲げています。

2. R財団の財務を知る

3年前の年次基金寄付と恒久基金収益が国際財団活動資金(WF)と地区財団活動資金(DDF)にそれぞれ50

%ずつ配分されます。そのDDFの最高50%を地区補助金に使うことができます。残りはグローバル補助金等に使用できますが、こちらはR財団が主導的に関わります。日本の年次寄付総額はアメリカに次いで第2位です。R財団の財務報告、そして地区のクラブ別年次寄付実績・3年間の寄付実績比較等財務の資料を纏めております。

3. 世界及び日本の奉仕活動の現状を知る

パイロット3年間の新地区補助金、グローバル補助金の申請件数、完了件数の結果を表に纏めております。次に新地区補助金、グローバル補助金のどの分野に使用されたか表に纏めています。新地区補助金では教育、地域開発、健康の順で使用されています。グローバル補助金では水と衛生、疾病予防と治療、基本教育と識字の順で使用されています。

4. 補助金による奉仕活動の実情を知る

第2690地区での補助金の使われ方をパイロットを含む4年間で纏めています。傾向として環境保全、体験プログラムは定着してきました。それ以外にも新世代育成プログラムとか社会的弱者支援プログラムと各クラブの工夫が見られます。今後も奉仕活動への創意工夫をお願いします。

5. クラブの奉仕活動を先導する

クラブR財団委員長は、クラブ会長、幹事とともに、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会、青少年奉仕委員会との協力体制を構築して地域社会へのユニークな奉仕プログラムを考えていただきたいと思います。もう一方で、世界で良いことをするためのプログラムを支える基金を充実させるために、特に「恒久基金」「ポリオ・プラス」「ロータリー平和センター」「6重点分野」への大口寄付の懇請活動が、クラブR財団委員長の新しい責務となっております。

<文責 神崎 信輔>

交換留学生リサさんの 米子高校での思い出

米子南ロータリークラブ
国際奉仕委員会

松村 順史



リサさん(Lisa Lyn WORLEY、米国フロリダ州ブランドン市出身、17歳)は、国際青少年交換プログラムとしてNew Tampa Evening RC推薦で、平成24年8月来日、25年7月末に離日されました。その1年間を改めて御報告申し上げます。

1. 学校選びと単位認定について

リサさんは、後述の通り大変楽しく又充実した留学生活を送り、ロータリーの青少年交換をまさに実践した留学生であったと思います。当クラブとしても最初の学校選びで苦戦した他は極めて充実したプログラムを組めたと考えます。

苦戦した理由は、単位認定でした。昨年度迄の他RCの実績を確認すると各留学生は、私立高校で単位認定を取得していました。当地区で当初予定していた私立高校からは単位認定に強く難色を示され、留学生受け入れを返上せざるを得ない状況になりました。その後の調査・確認した結果、米国の高等学校を卒業済と判明し、県立高校各校を回り、米子高校さんにお受け頂く事となりました。

海外の学校年度に合わせると日本の年度途中で来日・離日せざるを得ないプログラムであり、「基本的に」単位認定は難しいと言わざるを得ず今後は何らかの是正が図られます様希望・期待する次第です。

2. 学校生活について

米子高校の先生方にも同級生にも愛されたりサさんですが、そのエピソードを2~3書かせて頂きます。

昨年9月と今年7月の2回の文化祭を経験しましたが、今年の文化祭は日本語もわかり友人も多数出来、執行部と一緒に準備・運営に汗を流した時「米子高校の生徒になったと感じた。」と。

又、部活動では日本の武道の精神を学びたいと弓道部に入部。その面白さ・奥深さに魅了され、弓道部担任よりも彼女の行動力と向上心を高く評価してもらいました。

最後に、6月に当クラブの例会に公式最終出席の折、この1年間を振り返り「留学は、最初は不安や難しさがあったが努力すれば何でも出来る様になった。これからも日本と日本語の勉強は続けたい。」と感動的なスピーチをしてくれました。

今後リサさんは、9月よりフロリダ州中部の大学に進学、将来は日米の懸け橋に、そして美術の教師になるべく、この1年間を糧に更に勉学に励むと伺っています。



地区だより (2013年8月)

新会員ご紹介



ロータリー財団への寄付

大口寄付者 (レベル1) (7月)



佐藤芳郎
岡山南RC

ポリオ・プラスへの寄付



貴田 茂
岡山南RC



永野公之
岡山南RC

ベネファクター



梅田恭正
高梁RC

ポール・ハリス・フェロー



福井利明
倉吉中央RC



加藤敏行
高梁RC



前保清美
高梁RC



藤本誠司
高梁RC



川崎正志
高梁RC



柴倉 清
高梁RC



小林重樹
高梁RC



藤岡千秋
岡山東RC



高橋峰男
岡山北西RC



永野公之
岡山南RC



西村浩二
岡山城RC



中前貴子
岡山南RC



太田哲生
岡山南RC

米山記念奨学会への寄付

米山功労者



柳生篤成
笠岡RC



梅田恭正
高梁RC



庄盛敏廉
岡山RC



土井基之
岡山後楽園RC



小松原正吉
岡山南RC



宮地敬幸
岡山南RC



戸田正志
岡山南RC

地区だより (2013年8月)

ロータリー財団への寄付

メモリアル・コントリビューター

岡山城RC… 西村浩二が故母西村ひな子のために

クラブ特別寄付 (年次寄付)

笠岡東RC 100.00ドル(ゴルフ同好会寄付)

岡山岡南RC 35ドル(その他)

年次寄付にご寄付いただいた方々

牛窓RC	阿部公明	藤井雅司	服部恒雄	尾田 稔	大島愿恭
岡山岡南RC	荒嶋 望	入江祥子	井上 元	金関圭子	河本慎也
	森下雅人	中村有作	柴田 収	山中真悟	山下孝暁

米山記念奨学会への寄付

クラブ特別寄付

笠岡RC 28,305円(米山ランチ)

笠岡東RC 10,000円/21,000円(ゴルフ同好会寄付/米山ランチ)

クラブ普通寄付

倉吉RC	140,000円	鳥取北RC	125,000円	米子RC	157,500円	松江しんじ湖RC	152,500円
大社RC	117,500円	倉敷水島RC	72,000円	真庭RC	156,400円	岡山東RC	264,000円
岡山北西RC	102,000円	岡山北RC	112,500円	牛窓RC	15,000円	岡山旭川RC	135,000円
岡山丸の内RC	66,000円						

特別寄付をいただいた方々

笠岡RC	岡本 章	津田謙二	西山義正	原田三代治					
岡山岡南RC	荒嶋 望	入江祥子	井上 元	磯邊 崇	河本慎也	森下雅人	中前貴子	中村有作	
	太田哲生	大高直二	柴田 収	山中真悟	山下孝暁				

訃報

謹んで哀悼の意を表し、
ご冥福をお祈りします。



郷原 大 会員

(江津RC)

2013年8月6日ご逝去(享年77歳)

2000年2月9日入会

自営業
農業

2010-2011年度SAA、2008-09年度雑誌・広報委員長、
2007-2008年度社会奉仕委員長他



大西 清之 会員

(鳥取西RC)

2013年8月18日ご逝去(享年62歳)

1981年7月10日入会

オオニシ(有)代表取締役
建築工事

1999-2000年度第20代会長(各種理事・役員・委員長歴任)
ポール・ハリス・フェロー、米山功労者3回



藤井 康道 会員

(総社RC)

2013年8月24日ご逝去(享年80歳)

1972年11月入会 創立会員

藤井整形外科病院 事務長
病院

第12代会長

先月号の訂正とお詫び

地区だより9月号 (Vol.3) に下記の誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

P19 米山功労者メジャードナー 中村莞爾会員(高梁RC)の回数 10→1
米山功労者 杉浦弘明会員(出雲RC)の回数 4・5・6→3・4・5・6
河本正夫会員(高梁RC)の回数 1→10→米山功労者メジャードナー

文庫

通信

(312号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリーの資料より

◎「日本人が知るべき、日本人の精神・美しさ・誇りととは…」	竹田恒泰	2013	6p	(D.2600地区大会報告書)
◎「チーム力」	柿本倫明	2013	5p	(D.2600中信第二グループIM報告書)
◎「超」ものづくりへの挑戦—これからの100年をデザインする」	奥山清行	2012	27p	(D.2550地区大会記念誌)
◎「動物と人 共に生きる」	伊藤年一	2012	7p	(D.2750インターアクト年次大会報告書)
◎「思いやりの気持ちで平和をつくる」	紺野美沙子	2013	2p	(D.2760地区大会記録誌)
◎「進化するX線技術と社会へのインパクト」	村松康司	2013	2p	(D.2680西播第2グループIMReport)
◎「私の登った外国の山々」	渡辺玉枝	2013	4p	(米山梅吉記念館館報21号)
◎「『荒城の月』原曲」	岡村 健	2012	4p	(福岡南R. C.会報)
◎「『故郷：ふるさと』～柳の下のだじょう?」	岡村 健	2012	6p	(福岡南R. C.会報)

[上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

ハイライトよねやま (公財) ロータリー米山記念奨学会ニュース



★寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —

8月までの寄付金は前年同期と比べ1.7%増(普通寄付金1.6%増、特別寄付金1.9%増)、約480万円の増加となりました。大口寄付者の方をはじめ、多くのロータリアンの方々からのご寄付に感謝申し上げます。

★クラブ米山委員長セミナーを初開催! — 第2690地区 —



第2690地区初のクラブ米山奨学委員長セミナーおよび奨学生・学友親睦会が、森本ガバナー、葛尾米山記念奨学会理事、伊藤米山記念奨学会評議員及び地区米山奨学委員などの出席のもと、「岡山エリア」(8月25日)と「鳥取・島根エリア」(9月8日)に分けて開催されました。3県を擁する同地区は、特に鳥取・島根エリアでこれまで奨学生と学友が一同に会する機会がなく、今回、同地区米山奨学委員長の治郎丸清志氏が名簿をたよりに世話クラブ・カウンセラーに連絡を取り、かつて世話をした学友の所在確認と親睦会の案内をしてもらおう協



力を求めました。その結果、岡山で20人、松江では17人の奨学生・学友が集合。「奨学期間が終わって初めてこうした集まりに参加できて本当

に嬉しい」と、学友たちは口々に喜びを表しました。8月25日には、よねやま親善大使の楊小平さんと、岡山県立大学大学院在籍中のアルチャナ・シュレスタ・ジョシさん(2001-02/鈴鹿西RC)もゲストスピーカーとして参加。9月8日には再び楊小平さんと、当会武本事務局員がスピーチを行いました。森本ガバナーは「地区が本気になって取り組み、クラブや学友も協力してくれる。学友会の活性化が難しい地方でも、行動と気持ち次第で成果を出せることができるということを示したい。重要なのは、継続すること」と、今後の意気込みを語りました。

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281

E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp

URL: http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

出席報告(2013.8月)

クラブ名	make-up後出席率	ホームクラブ出席率	例会数	会 員 数				
				7月1日	8月末	内女性会員	増減	
第1グループ	鳥 取	99.15%	83.84%	4	59	61	3	2
	倉 吉	91.67%	79.17%	3	56	56	3	0
	鳥 取 北	83.80%	75.35%	3	50	50	6	0
	智 頭	93.33%	76.67%	3	10	10	0	0
	倉 吉 東	85.71%	73.81%	4	42	42	3	0
	鳥 取 西	82.21%	74.52%	4	52	52	0	0
	鳥 取 中央	87.72%	84.21%	3	38	38	0	0
	倉 吉 中央	71.21%	62.12%	3	22	22	2	0
計(8)	86.85%	96.21%	/	329	331	17	2	
第2グループ	米 子	78.14%	50.27%	3	63	64	3	1
	米 子 南	88.00%	73.33%	3	52	54	3	2
	境 港	74.42%	62.79%	3	44	42	0	▲2
	米 子 東	78.95%	62.78%	3	87	90	6	3
	米子中央	80.82%	71.23%	4	35	36	2	1
計(5)	80.07%	64.08%	/	281	286	14	5	
第3グループ	松 江	89.01%	69.06%	3	64	66	0	2
	松 江 南	91.07%	75.89%	2	64	63	4	▲1
	隠 岐 西 郷	88.06%	67.16%	3	22	23	0	1
	松 江 東	95.24%	80.52%	4	56	60	0	4
	松江しんじ湖	95.45%	74.24%	3	65	68	11	3
計(5)	91.77%	73.38%	/	271	280	15	9	
第4グループ	出 雲	77.46%	69.72%	3	47	48	1	1
	大 社	78.66%	72.56%	4	47	47	2	0
	出 雲 南	94.40%	76.19%	4	60	60	7	0
	平 田	90.97%	83.87%	4	40	42	2	2
	出雲中央	77.27%	71.21%	3	44	44	3	0
計(5)	83.95%	94.71%	/	238	241	15	3	
第5グループ	浜 田	85.40%	81.78%	4	54	59	1	5
	益 田	100.00%	81.25%	4	19	20	2	1
	江 津	79.61%	71.84%	3	32	36	0	4
	大 田	83.15%	78.41%	4	24	24	3	0
	益 田 西	91.11%	73.33%	3	30	29	4	▲1
計(5)	87.85%	77.32%	/	159	168	10	9	
第6グループ	笠 岡	97.04%	93.33%	3	49	51	0	2
	玉 島	96.43%	94.05%	3	28	29	1	1
	井 原	82.20%	69.49%	3	45	45	4	0
	総 社	86.52%	77.30%	4	38	38	7	0
	高 梁	87.60%	84.30%	3	39	41	1	2
	新 見	79.35%	72.83%	4	24	23	1	▲1
	笠 岡 東	91.45%	85.53%	4	38	38	1	0
	総社吉備路	89.89%	87.64%	3	33	33	2	0
計(8)	88.81%	83.06%	/	294	298	17	4	

クラブ名	make-up後出席率	ホームクラブ出席率	例会数	会 員 数				
				7月1日	8月末	内女性会員	増減	
第7グループ	倉 敷	99.07%	85.40%	4	84	85	0	1
	倉 敷 南	88.21%	71.90%	4	63	65	5	2
	児 島	78.41%	68.18%	3	29	30	0	1
	児 島 東	100.00%	98.25%	3	21	21	0	0
	倉敷瀬戸内	89.52%	75.00%	3	35	35	3	0
	倉 敷 東	94.17%	83.33%	3	40	40	4	0
	倉 敷 水 島	95.83%	85.42%	3	24	23	0	▲1
	倉 敷 中央	80.95%	80.95%	3	14	14	3	0
計(7)	90.77%	81.05%	/	310	313	15	3	
第8グループ	津 山	75.29%	55.88%	4	86	88	3	2
	美 作	86.11%	86.11%	3	35	37	1	2
	津 山 西	94.38%	92.05%	3	32	32	5	0
	真 庭	90.00%	71.00%	3	34	34	0	0
	津山中央	77.08%	69.79%	4	27	27	3	0
	計(5)	84.57%	74.97%	/	214	218	12	4
第9グループ	岡 山	89.90%	72.73%	3	105	109	0	4
	岡 山 東	93.70%	87.02%	4	88	89	0	1
	備 前	68.32%	59.44%	4	65	66	9	1
	岡山後楽園	83.02%	75.94%	4	53	53	0	0
	岡山北西	91.25%	78.13%	3	51	55	3	4
	赤 磐	68.42%	57.89%	3	19	19	0	0
	計(6)	82.43%	71.86%	/	381	391	12	10
第10グループ	岡 山 南	84.56%	78.57%	3	153	157	15	4
	玉 野	84.00%	77.71%	5	35	35	0	0
	岡 山 北	79.71%	69.57%	3	45	47	0	2
	岡山中央	86.84%	82.46%	4	40	40	2	0
	牛 窓	73.33%	73.33%	3	5	5	0	0
	岡山旭川	78.38%	70.27%	3	27	27	1	0
計(6)	81.14%	75.32%	/	305	311	18	6	
第11グループ	岡 山 西	83.39%	67.13%	4	73	74	7	1
	岡山西南	89.95%	79.45%	4	58	58	4	0
	岡山備南	82.50%	78.48%	3	30	31	2	1
	岡山丸の内	85.85%	70.75%	3	33	36	2	3
	岡 山 城	97.40%	85.33%	3	25	26	1	1
	岡山岡南	85.85%	76.42%	3	35	37	5	2
計(6)	87.49%	76.26%	/	254	262	21	8	

クラブ数	67RC
7月1日現在会員数	3,036名
7月末日会員数	3,099名
内 女性会員数	166名
純増	63名
8月出席率	make-up後 86.24% ホームクラブ 75.90%

わが町 隠れスポット

二十世紀梨記念公園と親木

鳥取市 桂見



二十世紀梨記念公園



親木

鳥取を名だたるナシ産地に発展させる嚆矢となったのが、写真の‘二十世紀ナシ’親木(鳥取県指定天然記念物)である。

明治37年(1904)、鳥取市桂見の素封家、北脇永治が千葉県松戸市の松戸覚之助より苗木を10本購入し、栽培を始めた。そして、ねばり強く二十世紀ナシ栽培を推奨した。まさに鳥取ナシ産業の先覚者、恩人である。

北脇家の好意により、導入時の樹3本と30aの園地が全農ととりに寄贈され、‘二十世紀梨記念公園’として整備保存されている。樹齢109年を迎える保存樹は全国最長老で、まだ現役なみに毎年すばらしい味と肉質の果実を成らせている。(第1グループガバナー補佐 田邊賢二)



■森本信一ガバナー事務所

〒708-0022 岡山県津山市山下98-1

津山社会教育文化財団 内

TEL (0868) 35-2307 FAX (0868) 35-2308

E-mail info@rid2690.jp

<http://www.rid2690.jp/>

(ホームページよりPDFをダウンロードできます。)



みまさかのくに
美作国建国1300年

平安時代に編纂された国史「続日本紀」によると美作の国(岡山県北東部)は和銅6年(713)備前の国の6郡を割いて置かれたとあります。これは国際ロータリ第2690地区第8グループの位置とほぼ重なります。平成25年(2013)は、美作の国が誕生してから1300年にあたります。